

さいたま市立見沼小学校、校長の佐藤俊夫（さとう としお）です。どうぞよろしくお願ひします。

本校は、JR 宇都宮線「東大宮駅」から徒歩 11 分、閑静な住宅街にあります。学区の中央には第 2 産業道路が走り、交通の便がたいへん良い場所です。また、本校の西側には JR 東日本東大宮総合車両センター（操車場）があり、廊下の窓からは様々な鉄道車両を見ることができます。自然にも恵まれ、本校の西側を流れる芝川沿いには様々な野鳥や昆虫が集まり、本校にも立ち寄ってくれます。周辺には明るく背の高い建造物がなく、都会のさいたま市としては空が暗く、星を見るのにも適しています。

昭和 42（1967）年 4 月 1 日に大砂土東小学校よりわかれ、新設開校されました。開校当時は、校舎等の施設しかなく、地域や保護者の協力で、少しずつ樹木が植えられ遊具や 飼育小屋等が、整えられてきました。昇降口の前には、開校 2 年目から子どもたちを見守ってきた「モッコク」の木があり、本校のシンボルとして親しまれています。

モッコクの木は高く、大きく育ち、本校の象徴として、学校と子どもたちを見守ってくれています。また、校庭のまわりには、開校当初に植えられた桜の花が、春を飾り、秋にはモミジやイチョウとともに、学校を鮮やかに彩っています。

全校児童 414 名、16 学級（5 組（特別支援学級）3 学級を含む）で令和 4 年度はスタートしました。かがやき教室（発達障害・情緒障害通級指導教室）も引き続き設置しています。

コミュニティスクールとしては、モデル校としてスタートし、4 年目を迎えます。合言葉は「**地域は屋根のない学校だ**」です。PTA や地域の皆様が様々な面で見沼小学校を支えてくださっています。

さて、「さいたま市GIGAスクール構想」が本格化し、**教育 DX（デジタル・トランスフォーメーション）**で学びの自律と個別最適化、そして探究化が実現できる舞台が整いました。ICT を活用し、すべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」の実現に向けて、教職員一同、全力で授業改革に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願ひします。

